



# HURTIGRUTEN

2018年4月

## 新造船「ロアール アムンセン」2019年に就航

### MS Roald Amundsen

2019年にフッティルーテンは新造船「ロアール・アムンセン MS Roald Amundsen」を新しく加えます。この最新鋭の船は燃料消費を削減し、大型船舶でのハイブリッド推進が可能であることを世界に示す新しく環境に優しいハイブリッド技術を備えています。

ロアール・アムンセンはフッティルーテンが今後数年間のうちに就航させる2つのハイブリッド船のうちのひとつで電気で航行することで排出量を削減します。ハイブリッド技術は船体の先進的な建設と船上での電気の有効利用を組み合わせることにより、船舶の燃料消費量とCO2排出量を20%削減します。この2船の造船はフッティルーテンの歴史における最大の投資です。

この船は静かで排出物のないクルーズを実現します。ロアール・アムンセンは、より持続可能な旅の方法を導きます。電気での航行は環境に大きな利益をもたらすだけでなく、乗客が自然を体験することによる影響を高めます。船は極地でのクルーズのために特別に建造され、洋上の快適なベースキャンプとして機能し、世界中の冒険者を最も持続可能な方法で最も壮大なエリアへ導きます。

#### 名前の遺産

1911年、ノルウェーの探検家ロアルド・アムンゼンは信じられないほどの成果を上げ、南極大陸を横断して南極に到着した最初の男になりました。フッティルーテンの新しい船は、先駆的な極地体験のシンボルとして彼の名前を誇りに思っています。

#### 船内の設備

船の最も目を引く外観設計の特徴の1つは、船首にある屋内/屋外2階建てのオブザーベーションデッキです。その裏に船上での体験の核となる施設、アムンセン・サイエンスセンターがあります。

最先端技術とタッチスクリーンや科学機器などのハイテク機器が詰め込まれた没入型エデュテインメントエリアは、ゲストとスタッフ/クルーが出会う場所となり、彼らが探索する地域をより深く理解することができます。講義スペースや小さなライブラリー、写真や生物学などの専門分野のためのエリアなどもあります。大きな窓を特徴とするこのエリアは、フッティルーテンの厳選されたエクスペディションチームの船上の本拠地となります。

見事な景観は、豊かで快適なインテリアデザインに反映されます。花崗岩、オーク、バーチ、ウールなどの自然のスカンジナビアの素材を使用して、くつろぎやすいスタイリッシュなキャビンやパブリックエリアを作りだします。すべてのキャビンは海側に、その50%には専用バルコニーが付いています。船尾のスイートには素晴らしい景観を眺めながら利用できる屋外ジャグジーがあります。

ロアール・アムンセンには北欧とノルウェーの伝統に刺激を受けた3つのレストランがあります。

・**オウヌ・メイン・ダイニング**はノルウェーの船具商であるオウネ・ティナスから名付けられました。

・**フレドハイム** - インフォーマルで社交的な会合の場所です。スバルバルの1900年代の狩猟ステーションにちなんで命名されました。

・**リンドストローム**はノルウェー極地の英雄のシェフであるアドルフ・リンドストロームにちなんで名付けられたレストランです。

#### 船上の芸術

世界初のハイブリッド型エクスペディションシップが処女航海に出るとき、船上のすべてのアートがノルウェーのアート財団のソニア王女によって選ばれます。エキサイティングなコラボレーションの詳細は[こちら](#)をご覧ください。

#### ロアール・アムンセン シップデータ

建造年	2019	造船所	Kleven Yards	乗客定員	530
総トン数	20,889 T	全長	140	巡航速度	15 ノット